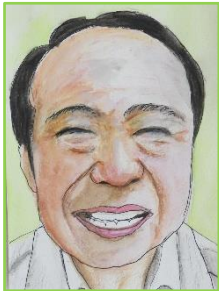




くわのみ



桑野地区連合町内会長・盆踊り実行委員会会長 藤橋定行

今年度は、4年前に発生した新型コロナウイルス感染症が下火になり、適応も5類移行になったこともあり、地域の行事・事業を再開するようになりました。

特に今回は、50年以上続いている「桑野地区夏まつり盆踊り大会」を再開する計画を立て、実行委員会を組織して進めてきました。しかし、開催前日になり、コロナ感染者が出てしまい、結果、地区盆踊りを中止しました。

さて、今回の原稿依頼は「桑野地区盆踊り大会への思い」ですが、桑野地区は郡山市の人口増、都市化の進行によって急速に発展してきた地域です。そのため、元々住んでいた市民と新しく入ってきた市民との融和が必要になったと思います。そこで、昭和46年自治省より「モデル・コミュニティ地域」の指定を受け、これを機に桑野公民館ができ、体育祭や文化祭等が実施されたと思います。その中の1つの事業が「地区盆踊り大会」です。

この桑野地区は、明治以降開拓により開かれた地域で、古い文化財や伝統芸能文化などはありませんでした。そうしたことから、自分たちで交流文化を作り実施してきたと思います。

私は、町内会活動に携わって30年ぐらいになりますが、思い出として地区の秋祭りがあり、当時は小学校が半日授業でした。しかし、当町内会は、設立したばかりで何もしていませんでした。そんな時、子ども達が「祭りがなからつまらない」と言っていることを耳にしました。それから、「子ども神輿」中心に開催しております。

今回の「桑野地区盆踊り大会」も3年間中止期間がありましたが、前記の思いもあり、開催の運びとなりました。しかし、今年度については、前記しました理由で同日朝「中止」を決断しました。

4年ぶりの開催にご協賛いただきました方々に深く御礼申し上げます。また、御協力をいただきました方々に感謝申し上げます。

地域未来塾・くわのっ子スクール「太鼓教室の思い出」 桑野小学校6年B.Rさん

私は1年生の頃から太鼓教室に参加していました。最初は覚えるのがむずかしかったけど、少しずつ慣れてきて、1,2年生の時は、やぐらの上で太鼓をたたいていました。そして、5年生になって久しぶりに太鼓を叩いたらとても楽しかったです。でも5年生の時はコロナウィルスの影響で盆踊りが中止になり、太鼓発表会をやりました。6年生になってからは、みんなのお手本になれるように一生懸命頑張って練習をしていました。それで今年こそはやぐらの上で太鼓を叩けると思っていました。しかし、天気が悪くて、昨年と同じで太鼓発表会になってしまいました。私は小学校最後の太鼓教室だったので、中止になってとても残念でした。来年も太鼓教室に参加する子たちには、ぜひやぐらの上で太鼓をたたいてほしいです。





8月26日に開催された歴史講座で講師を務めさせていただいた岡田峰幸です。今回は、「関ヶ原合戦と福島県」と題し、自作の紙芝居で解説させていただきました。

西暦1600年9月に起こった天下分け目の大戦。この戦いに勝利した徳川家康が天下を取り、江戸幕府を開きます。じつは、そのきっかけとなったのが当時の福島県でした。

このころ会津と中通り地方は上杉氏の領地。上杉氏をリードしていたのは直江兼続という武将です。豊臣秀吉がなくなり、徳川家康が台頭してくると、兼続は、石田三成と共謀して徳川打倒を目指しました。その作戦の一環として、家康を会津におびき寄せたとされています。

栃木県方面から北上してきた家康を迎え撃つため、兼続は白河市皮籠に巨大な防塁を築きました。その防塁の後がまだ残されていますので、興味がおありでしたら散策してみてください。さらに兼続は、徳川に味方して四方から攻め込んでくる敵に備え、上杉領内の中央に陣取り全軍の指揮をとりました。その場所は、郡山市熱海町の安子島城です。兼続と言えば兜に“愛”の一文字をつけていたことで有名ですが、その“愛”兜をかぶった人物が郡山市にいたわけです。そう思うとわくわくしてきませんか？

現在、安子島城跡には石碑しか残されていませんが、何かの折にでも安子ヶ島城に足を運び、歴史のロマンを感じていただけたらと思います。



みつけたらよんでみよう **おすすめの絵本** 筆：たかみや みちこ

おにいちゃん さんかんび さく：くすのき しげのり え：大島 妙子



こどもにとって、参観日は、いつもとはちがって少しドキドキする日。

今日は妹ユキの参観日、行く予定だったお父さんが行けなくなり、お母さんも仕事を休むことができず、ユキは、みんなでおりがみをするのに…ひとりですのいやや…と泣きそうな気持ちになっていました。

そんな時、おにいちゃんが「かわりに、ぼくがいく」と言い出して…。

ユキの気持ち、おにいちゃんの気持ち、そして家族の気持ちという、目に見えない「すてきなもの」「大切なもの」がとても温かく伝わってくるお話です。

ぜひ、みつけたらよんでみてください。

